

## 令和2年第2回小金井市議会臨時会補正予算における 新型コロナウイルス感染症対策について

### 1 事業規模

総 額	717,523千円
-----	-----------

### 2 補正事項（小金井市緊急対応方針の取組）

(1) いのちを守る	223,517千円
------------	-----------

- |   |                                                |           |
|---|------------------------------------------------|-----------|
| ○ | 医療従事者への支援【健康課】                                 | 22,452千円  |
|   | 市内医療機関の医療従事者及び職員等に対し、感染予防にも活用できる慰労金10万円～5千円を支給 | 一般会計（第5回） |
- |   |                                                 |           |
|---|-------------------------------------------------|-----------|
| ○ | 災害時の避難所における感染症対策【地域安全課】                         | 17,954千円  |
|   | 新型コロナウイルス感染防止対策のため必要となるマスク、非接触式体温計、間仕切り、蓄電池等を備蓄 | 一般会計（第5回） |
- |   |                                                           |           |
|---|-----------------------------------------------------------|-----------|
| ○ | 市立小中学校等における環境整備【庶務課他】                                     | 33,325千円  |
|   | 集会施設、保育園、児童館、保健センター、小中学校、図書館、公民館等において十分な換気を継続的に行うため、網戸を整備 | 一般会計（第5回） |
- |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |           |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| ○ | 民間保育施設等への支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 139,825千円 |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空調換気設備の整備支援【保育課】 <span style="float: right;">(35,000千円)</span></li> <li style="margin-left: 20px;">私立幼稚園等に対し、空調換気設備の整備経費を補助 <span style="float: right;">一般会計（第5回）</span></li> <li>・ 感染防止対策物資の調達支援【保育課】 <span style="float: right;">(104,825千円)</span></li> <li style="margin-left: 20px;">民間保育施設等に対し、新型コロナウイルス感染防止対策のための消耗品の購入経費等を補助 <span style="float: right;">一般会計（第5回）</span></li> </ul> |           |
- |   |                               |           |
|---|-------------------------------|-----------|
| ○ | 図書館サービスの充実【図書館】               | 9,961千円   |
|   | 図書館利用者サービスの更なる拡充を図るため、電子書籍を導入 | 一般会計（第5回） |

(2) くらしを守る	100,797千円
------------	-----------

- |   |                                                                                 |           |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| ○ | 新生児特別定額給付金の給付【地域福祉課】                                                            | 100,797千円 |
|   | 国の特別定額給付金の給付対象とならない令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた子どもを育てる費用を支援するため、給付対象児一人につき10万円を給付 | 一般会計（第5回） |

(3) 地域を守る	338,561千円
-----------	-----------

- |   |                                                                                                     |           |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| ○ | 市内事業者への支援【経済課】                                                                                      | 186,079千円 |
|   | 売上が減少している市内の中小企業者等（法人（NPO法人等を含む。）及び個人事業主）のうち、市が実施している事業継続支援給付金の支給対象とならない中小企業者等に対し、こがねい事業者応援金20万円を支給 | 一般会計（第5回） |

- 小金井市商工会実施事業の補助【経済課】**

事業活動に影響を受けている市内事業者を支援するため、小金井市商工会が新たに実施する事業（「小金井市プレミアム付商品券発行事業」、「元気出せ！小金井応援前売りチケット事業」及び「小金井弁当でディスタンス事業」）に対し、補助金を交付

**88,678千円**

一般会計（第5回）
- 小金井市観光まちおこし協会実施事業の補助【経済課】**

「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化策として、一般社団法人小金井市観光まちおこし協会が新たに実施する事業（「オープンスペース活用事業」及び「ご近所活用ガイド製作・活用事業」）に対し、補助金を交付

**12,991千円**

一般会計（第5回）
- 芸術・文化に関する支援【コミュニティ文化課】**

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動の機会を失っている市内のアーティスト等による文化芸術活動を支援

**5,026千円**

一般会計（第5回）
- 民間保育施設等への運営支援【保育課】**

民間保育施設等に対し、臨時休園等に伴う利用者負担額の軽減分を補助

**35,787千円**

一般会計（第5回）
- 保育従事者等への支援【保育課】**

市内の保育事業所等に就労する職員に対し、慰労品（市内事業所で使用できる商品券）5千円分を支給

**10,000千円**

一般会計（第5回）

**(4) 市民サービスの基盤を守る 54,648千円**

- 公共交通における利便性の向上等【交通対策課】**

利用者の利便性向上及び利用者の回復に向けた利用促進の一助とするため、C o C oバスへの公共交通系ICカード導入経費を補助

**4,196千円**

一般会計（第5回）
- 市施設における感染防止対策【コミュニティ文化課他】**

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためのアルコール消毒液、マスク、仕切り等の購入

**50,452千円**

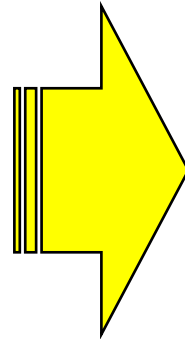
一般会計（第5回）

※ 補正事項の内容等については、各担当課までお問い合わせください。

### 薬剤師会アルコール配布（案）

一般社団法人小金井市薬剤師会から、市施設で活用してほしいと、手指消毒用のアルコール（100リットル＝一斗缶5.5缶分）をご寄附いただきました。寄附者の意向に沿って庁内各課に照会したところ、寄附量を上回る結果となった（下左表）。同一施設に対し複数課から要望もあったため、集約し、部ごとに希望数量で按分した結果が下右表のとおりである。

部名	照会結果	課名	照会結果
総務部	500	管財課	500
市民部	750	コミュニティ文化課	200
		市民課	500
		保険年金課	50
環境部	120	環境政策課	100
		下水道課	20
福祉保健部	300	介護福祉課	250
		健康課	50
子ども家庭部	850	児童青少年課	600
		保育課	250
都市整備部	100	まちづくり推進課	30
		都市計画課	50
		道路管理課	20
議会事務局	100	議会事務局	100
学校教育部	770	指導室	40
		第一小学校	50
		第二小学校	50
		第三小学校	50
		第四小学校	70
		東小学校	50
		南小学校	50
		緑小学校	100
		前原小学校	50
		第一中学校	100
		第二中学校	80
		東中学校	80
		生涯学習部	820
生涯学習課	320		
合計	4310		4310

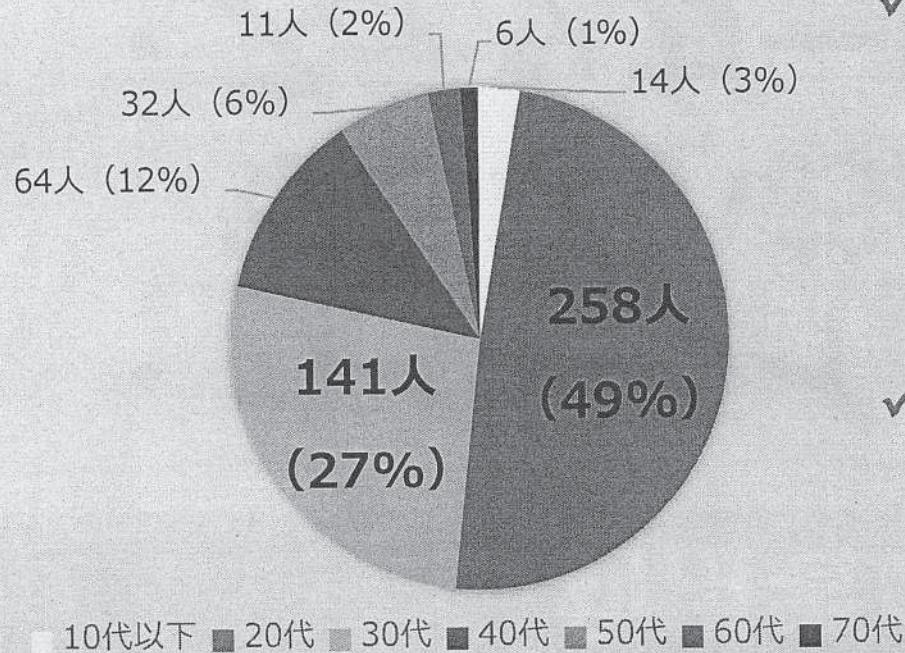


部名	集約・按分結果	課名	集約・按分結果
総務部	140	管財課	140
市民部	50	コミュニティ文化課	50
環境部	30	環境政策課	30
福祉保健部	60	介護福祉課	40
		健康課	20
子ども家庭部	240	児童青少年課	170
		保育課	70
都市整備部	00	—	00
議会事務局	30	議会事務局	30
学校教育部	220	指導室	20
		小学校（本町小以外）	130
		中学校（南、緑以外）	70
生涯学習部	230	図書館	140
		生涯学習課	90
合計	1000		1000

部内における各課、各施設等への最終配分は、各部内で調整することとする。保健センターでのアルコール充填作業は、各部の庶務担当課等の代表課が来館の上、実施し、その後、部内で配布することとする。

## 最近の会食などでの感染事例

飲食店等での感染例 (7/1~7/27)



✓ 飲食店等で感染した患者の約  
8割は20代・30代の若者

(具体的な事例)

- ・ 同僚20人での会食パーティー
- ・ 友人2~3人の居酒屋での飲み会

✓ 「長時間」「大声」「至近距離」は  
特にリスクが高い!

## 最近の主な感染事例

全世代

飲食店、友人宅などで友人と会食  
(4人以下の例も多数)

20代  
・30代

知人の誕生日会に参加

10代  
~30代

(後に陽性が判明した)友人とカラオケ

## 都民の皆様へ

# 感染予防・感染対策は万全に 夜間の繁華街への外出は控えて！

- ・ 高齢者等は、重症化リスクあり。3密の徹底回避を
- ・ 一人ひとりが「感染しない、させない」の意識で行動を
- ・ 見守りサービス・接触確認アプリなどの活用を

## 感染リスクを避けるために〈会食編〉

- ・ 長時間の会食や飲み会は避ける
- ・ 大声や至近距離での会話・歌唱をしない
- ・ 食事中以外、特に会話を楽しむ際には必ずマスクを付ける
- ・ 他グループとの相席は避ける
- ・ できるだけ間隔を空け、なるべく横並びで座る
- ・ 個室の場合は十分な換気を行う
- ・ 店舗入口や手洗い場所の消毒液で手指を消毒する
- ・ 体調が悪いと感じるときは、会食や飲み会に絶対参加しない

障害福祉事業所等・介護事業所運営補助事業の進捗状況について

1. 補助金申請状況（8月18日現在・申請期間9月30日まで）

障害福祉事業所等 23件/ 80件（28.8%）

介護事業所 56件/152件（36.8%）

2. 補助金支出状況

	障害福祉事業所等		介護事業所	
	件数	支出金額	件数	支出金額
	23件	4,600千円	56件	8,800千円
執行率	28.8%	28.8%	36.8%	36.7%

※執行予定を含む

3. 職員慰労品の実施状況

7月31日：申請締め切り

8月7日：慰労品の発注（障害福祉事業所等 703枚、介護事業所 2,175枚）

8月21日：納品予定

8月28日・31日：配布予定



小金井市長 西岡 真一郎 様  
教 育 長 大熊 雅士 様

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望（第7回）

2020年7月22日  
日本共産党小金井市議団  
水上 ひろし  
たゆ 久貴  
板倉 真也

東京都において、新型コロナウイルス感染症への新規感染者数が、12日連続で100人を超える事態（20日時点）となっている。政府が感染拡大防止のため社会に協力要請をする基準をはるかに超え、緊急事態宣言を出した時を上回っている。識者から「第2波」の到来を指摘する声も上がっている。

こうした局面を迎える中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止とともに、市民生活支援策のさらなる拡充が求められている。

この間、全員協議会などで意見を述べてきたことも含めて、市の対策の強化を以下の点で求めるものである。

記

1. PCR検査の抜本的な拡充を国や東京都に対して要望するとともに、市として対策強化を求める。
  - ① 大規模な検査によって陽性者を見つけ出し、隔離・治療することが感染抑止のカギである。国や東京都に対して、抗体検査を始めPCR検査などを抜本的に拡充する戦略の方針を早急に示すよう求めること。
  - ② PCR検査に係る費用についての補助を抜本的に強化すること、保健所を増やすことや体制強化を国や東京都に求めること。
  - ③ PCR検査を実施している医師会に対して敬意を表するものである。PCR検査を必要と判断した場合に積極的に検査に回すことなど、医師会と協議し対策を強化すること。
  - ④ 医師会に加入していない医療機関からの検査申し入れに応えるよう、医師会に協力を要請すること。
  - ⑤ 発熱やコロナ感染の疑いがあるとき気軽に相談できる発熱外来センターを医師会と相談し設置すること。
  - ⑥ 今後感染が拡大する中で、院内感染・施設内感染を防ぐため、医療、介護、障害福祉、保育、教育の関係者については早急に検査が行えるようにすること。
  - ⑦ 市の検査に係る補助金を増額するなどの支援を強化すること。

## 2. 市民生活支援のさらなる強化を求める。

- ① 国や東京都、小金井市の支援の対象とならなかった事業者、フリーランスへの支援を早急に行うこと。例えば、市の家賃補助を中心とした支援では、自己所有物件は受けられない、売り上げが15%以上の減少にならずわずかな差で対象にならなかった事業所などがある。しかしこうした対象にならなかった事業所は消毒液等の出費は増えている。こうした現状があることを踏まえ、すべての事業所に対し支援の強化を求める。
- ② 特別定額給付金の支給を申請者すべてに対して直ちに行うようにするとともに、申請が困難な高齢者や障がい者に対して、申請の支援を行うためのあらゆる方策を検討し早急を実施すること。
- ③ 4月28日以降に生まれた新生児に対して10万円の給付を行うこと。
- ④ 介護施設や医療機関の運営が厳しくなり、閉鎖する施設も生まれている。国は医療と介護従事者への慰労金を支給するが、市が独自に上乘せするなど支援をさらに拡充すること。
- ⑤ アルバイトができなくなるなどで収入が激減し、学生の生活が厳しくなっている。そうした市内の学生に対し家賃補助などの支援を行うこと。
- ⑥ 第2波に備えて、インフルエンザや肺炎球菌ワクチンの予防接種費用の拡充を行うこと。
- ⑦ 学校によっては、消毒液が不足し、学校外の市民が寄付するという事態も生まれている。小中学校、保育園、学童保育所など、子ども関係施設への消毒液、マスク、フェースシールド、感染防止のためのアクリル板の設置など徹底した感染予防対策を現場の声を聞いて緊急に充実させること
- ⑧ 小中学校における校内清掃や消毒作業の教員の負担軽減のために、緊急雇用で対応するなど対策を行うこと。
- ⑨ 国の介護事業所支援のための「コロナ特例」で、介護報酬が引き上げられることになった。利用者の利用料の負担増にならないように、市として補助すること。
- ⑩ 公民館、集会施設における、消毒は施設側で行うこと。利用団体に対し消毒への協力をお願いする場合、消毒液、雑巾などは市側で用意すること。

## 3. 情報公開にあり方に関する要望

- ① 多摩府中保健所が東京都に報告している、各市のPCR検査を受けた人数、そのうちの陽性者数と陰性者数、また入院数、隔離者や回復者などの内容を市民に公表するよう、東京都に要請すること。
- ② 4市共同で実施しているPCR検査の状況についても同様に公表すること。

以上

収受	係	主任	係長	補佐	課長
	商 務		井 上		課 長

2020年8月5日(水)

小金井市長 西岡真一郎 様



新型コロナウイルス感染症対策・対応に関する会派提案(その8)

会派：小金井をおもしろくする会  
白井亨・水谷たかこ

市議会会派・小金井をおもしろくする会として、以下の通り、提案する。

○事業と予算の抜本的な見直しで財源を確保し、市民の生活を守るため大胆な財政出動をすること

今年度の当初予算のうちイベントや啓発活動等、今年度は必須ではない事業をすべて凍結し、その予算を市民と事業者の生活を守る(各種支払い猶予、減免、支援、貸付、保育士等への危険手当支給、事業者支援のための地域商品券発行等)政策投資へ振り分けること。速やかにその組み換え予算を編成すること。

○学校等子どもの施設の消毒を、シルバー人材センター等へ委託できるようにすること

小中学校は今後も引き続き消毒作業を続けることが予想される。一部に地域ボランティアで対応できている学校もあるが、毎日の消毒作業にかかる教員の負担は重く、予算措置をして学校判断でシルバー人材センター等へ委託できるようにすること。また、保育園や学童保育所等の子どもの施設も同様であり、こちらも検討すること。

○さらなる市内事業者支援策を実施すること

市内事業者の経営環境を分析し、必要な支援を打ち出すこと。例えば消費喚起のために大型店では使えないプレミアム付き商品券の発行(三鷹方式なども参考に)や、「さきめし」の仕組みなど、あらゆる可能性の中から効果的な支援策を実施すること。

○アーティスト支援に取り組むこと

6月23日に採択した2陳情第28号の趣旨実現のため、市内在住の多様なアーティストの生活と活動を支援に取り組むこと。例えば市が広報する情報をアーティストの観点からアレンジして伝えるコンテンツ制作を発注する枠を設けるなど、様々な有償のメニューで支援に繋げること。

○特別定額給付金未申請者への申請勧奨に取り組むこと

8月31日まで申請を受け付けている特別定額給付金について、未申請者に対して申請の勧奨はがきを送付するなど、特定の意思をもって申請しない方以外は全員申請してもらえよう働きかけること。

#### ○多胎児家庭への支援に取り組むこと

多胎児家庭は平時でも移動や社会活動に大きな障壁があり、コロナ禍ではより閉じこもりがちになるため、育児ヘルパー無料利用券やタクシーチケットの配布等、可能な限りの支援に取り組むこと。

#### ○家庭内学習に使える貸与用の Wi-Fi ルーターを整備すること

GIGA スクール導入における今後の展開や、新型コロナウイルスの第2波・第3波で家庭学習支援に使える家庭内通信環境の支援のための Wi-Fi ルーターを想定必要数整備しておくこと。

#### ○高齢者の「生涯学習を止めない」ためのオンライン対応支援

施設利用は再開したが、定員制限などもあり、公民館講座をはじめとして各種学びの機会が失われている。公民館等施設での Wi-Fi 環境整備とともに、一定の条件で家庭で使える Wi-Fi ルーターを図書館で貸出すなど、高齢者をはじめとした生涯教育における「学び」を止めないための支援をすること。

#### ○避難所での感染症対策を行うこと

飛沫防止に役立つ、かつプライバシー保護にも資する簡易パーテーションを準備するなど、避難所の環境改善のための設備を導入すること。避難所での密を防ぐために、現在用意している避難所の他にも、非常時には地域の団体の保有する施設などを避難所として使用できるように協定や覚書を結ぶなどの働きかけをすること。

#### ○会議に使えるマイクシステムや ICT を整備し、傍聴環境を確保すること

感染防止対策として審議会の傍聴が制限されることが多い。やむを得ない面もあるが、定員を制限するなら ICT 活用で補完するなど、審議会の傍聴環境を保障すること。また、審議会等で一つのマイクを委員が使い回すなどの光景もみられる。第一会議室のようなマイクシステムを 801 会議室などで使用できるようにすること。また、萌え木ホール等の集会施設や公民館にある既存のマイク設備をメンテナンスし、良好な状態で使用できるようにすること。

#### ○市職員が外部ともオンライン会議・面談ができるようにすること

市役所だけが対外的にオンライン会議ができない環境が続いている。打合せや面談で外部へ訪問することを禁止されている企業も多く、市職員が外部の方と気軽にオンラインで面談・会議ができるシステムの導入をすること。

以上